

証券コード6859

**2022年度(2023年3月期)  
第3四半期決算について**

**2023年2月17日  
エスペック株式会社**

# 2022年度第3四半期 決算概要

エレクトロニクスおよび自動車関連が好調に推移し、受注高・売上高は過去最高を更新  
 営業利益は、前年同期比では大幅増加、10月修正予想比では売上高未達により下回る

	前年同期比	予想比(2022年10月修正)
■受注高	○ 装置事業(主に環境試験器)が大幅に増加	○ 装置事業がやや下回るが予想どおり
■売上高	○ 装置事業(主に環境試験器)が大幅に増加	△ 装置事業およびその他事業がやや下回る
■営業利益	○ 販管費は増加したが増収により大幅に増加	× 主に装置事業の売上高未達により下回る(販管費は予想内)
■経常利益 親会社株主に帰属する四半期純利益	○ 営業利益の増加により増加	× 営業利益の減少により下回る

# 損益の状況

(百万円)

	2021年度 3Q累計実績	2022年度 3累計実績	前年同期比
受注高	38,752	47,153	+21.7%
売上高	28,131	35,972	+27.9%
売上原価 (原価率)	18,337 65.2%	23,627 65.7%	+28.8% 0.5pt悪化
売上総利益	9,794	12,345	+26.1%
販管費	8,621	9,929	+15.2%
営業利益	1,172	2,416	+106.1%
経常利益	1,386	2,695	+94.4%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	834	1,708	+104.8%

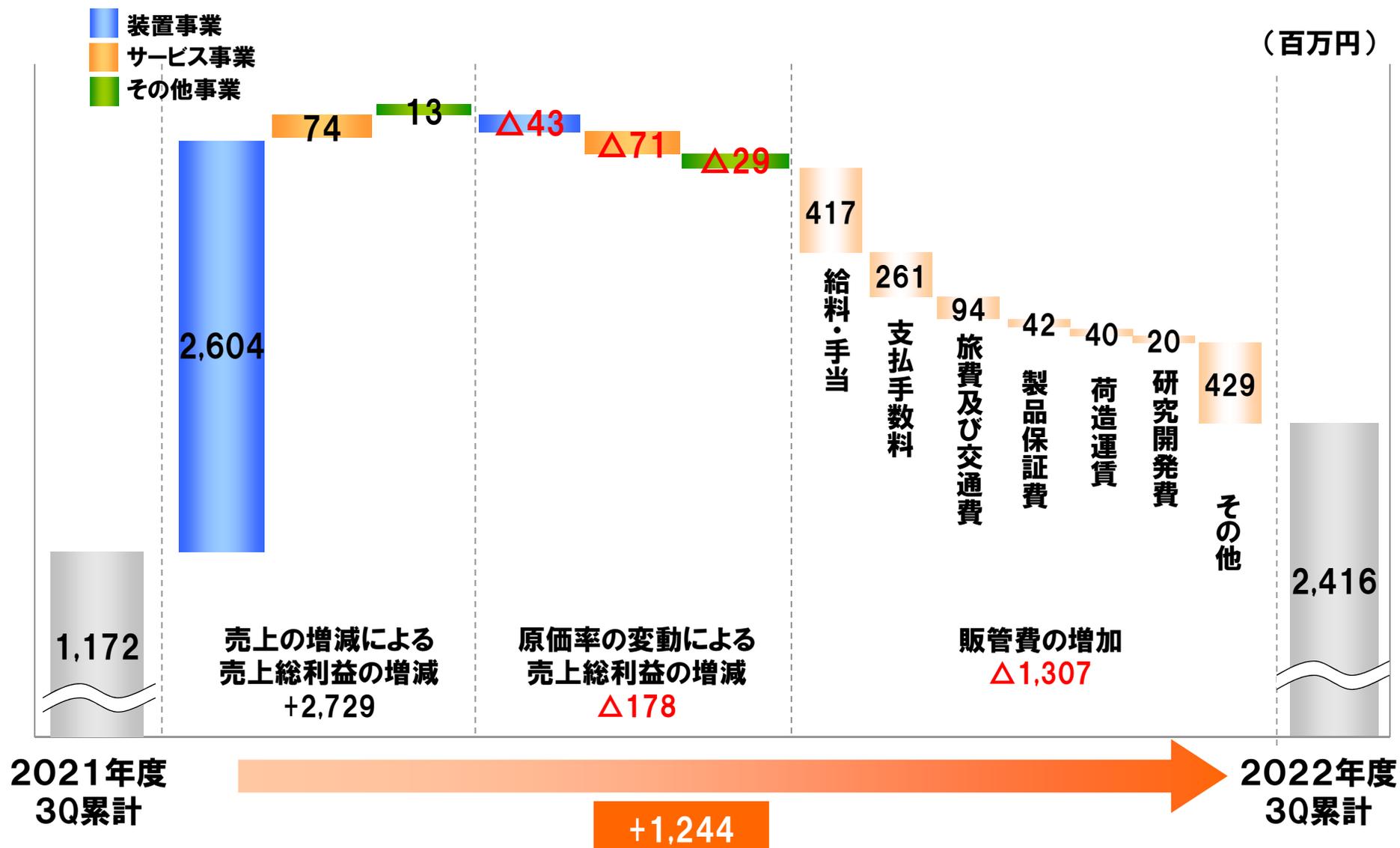
2021年7月よりエスペクサーマルテックシステム株式会社を連結の範囲に含めています。

# セグメント別の損益の状況

(百万円)

セグメント		2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	前年同期比
装置事業	受注高	33,007	41,031	+24.3%
	売上高	23,237	30,866	+32.8%
	営業利益	951	2,329	+144.9%
サービス事業	受注高	4,993	5,216	+4.5%
	売上高	4,472	4,672	+4.5%
	営業利益	311	185	△40.6%
その他事業	受注高	956	1,148	+20.1%
	売上高	612	656	+7.3%
	営業利益	△89	△96	-
連結消去	受注高	△205	△243	-
	売上高	△190	△222	-
	営業利益	△0	△0	-
計	受注高	38,752	47,153	+21.7%
	売上高	28,131	35,972	+27.9%
	営業利益	1,172	2,416	+106.1%

# 営業利益の増減要因分析(前年同期比)



※合計値は全体の売上総利益率を用いて算出しています。

# 装置事業セグメント

(百万円)

	2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	前年同期比
受注高	33,007	41,031	+24.3%
売上高	23,237	30,866	+32.8%
営業利益 [利益率(%)]	951 4.1%	2,329 7.5%	+144.9%

## 環境試験器

- 国内では、汎用性の高い標準製品・カスタム製品ともに受注高・売上高が前年同期比で増加
- 海外では、受注が好調に推移し、売上高は前年同期比で増加  
中国、北米、欧州、東南アジア、韓国が増加

## エネルギーデバイス装置

- 自動車の電動化に向けた投資拡大により主に国内で充放電試験用チャンバーが好調に推移  
受注高・売上高ともに前年同期比で増加

## 半導体関連装置

- 顧客の計画の遅れにより、受注高は前年同期並みとなったが、売上高は減少

# サービス事業セグメント

(百万円)

	2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	前年同期比
受注高	4,993	5,216	+4.5%
売上高	4,472	4,672	+4.5%
営業利益 [利益率(%)]	311 7.0%	185 4.0%	△40.6%

## アフターサービス・エンジニアリング

- 保守契約など予防保全サービスが堅調に推移し、受注高・売上高ともに前年同期比で増加

## 受託試験・レンタル

- 車載用バッテリーを中心に受託試験が堅調に推移し、受注高は前年同期並み、売上高は前年同期比で増加

# その他事業セグメント

(百万円)

	2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	前年同期比
受注高	956	1,148	+20.1%
売上高	612	656	+7.3%
営業利益 [利益率(%)]	△89 △14.7%	△96 △14.7%	-

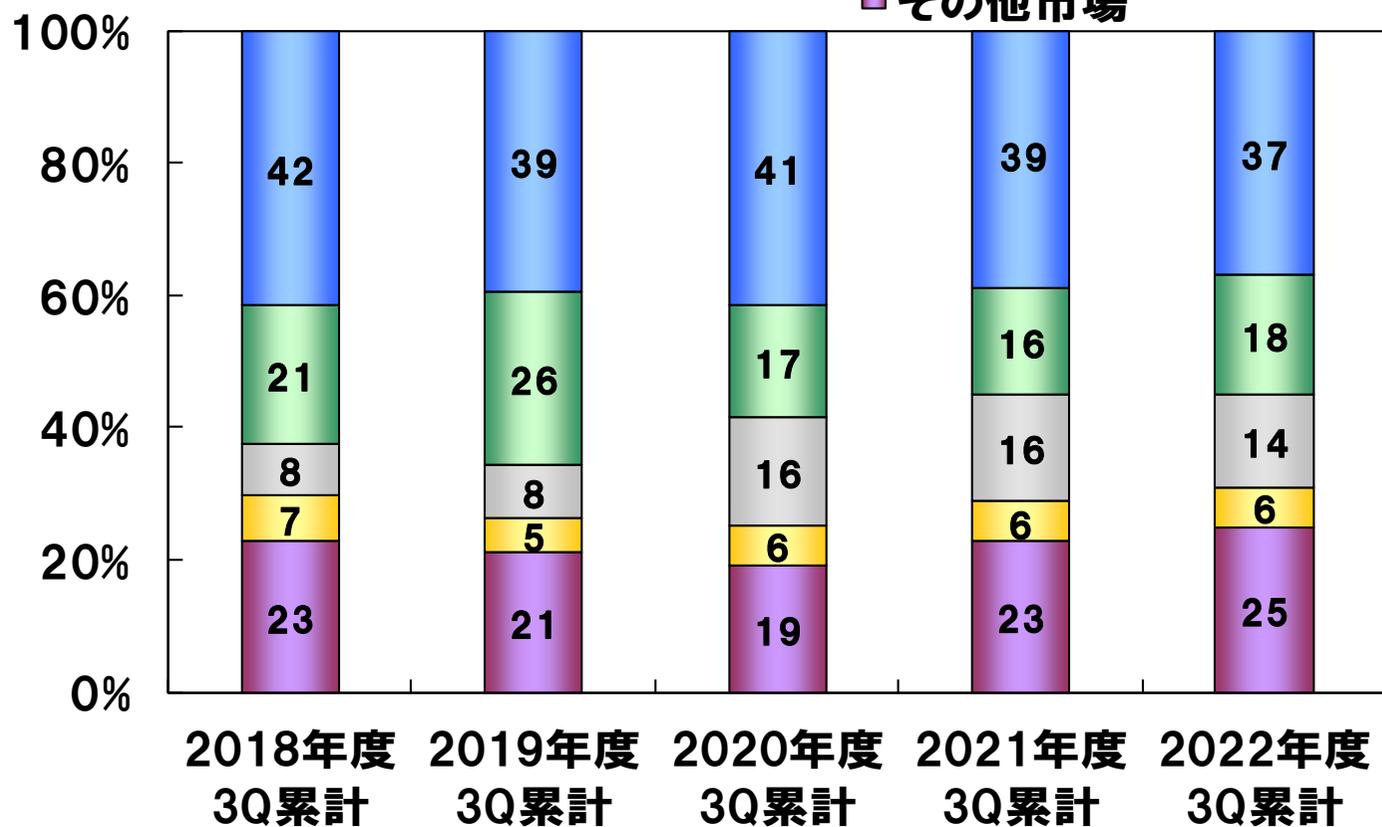
## 環境保全・植物育成装置

- 森づくりや水辺づくりが低調に推移したものの、植物研究用装置や植物工場の受注により受注高・売上高ともに前年同期比で増加

# 市場別売上構成比

単体(装置事業)

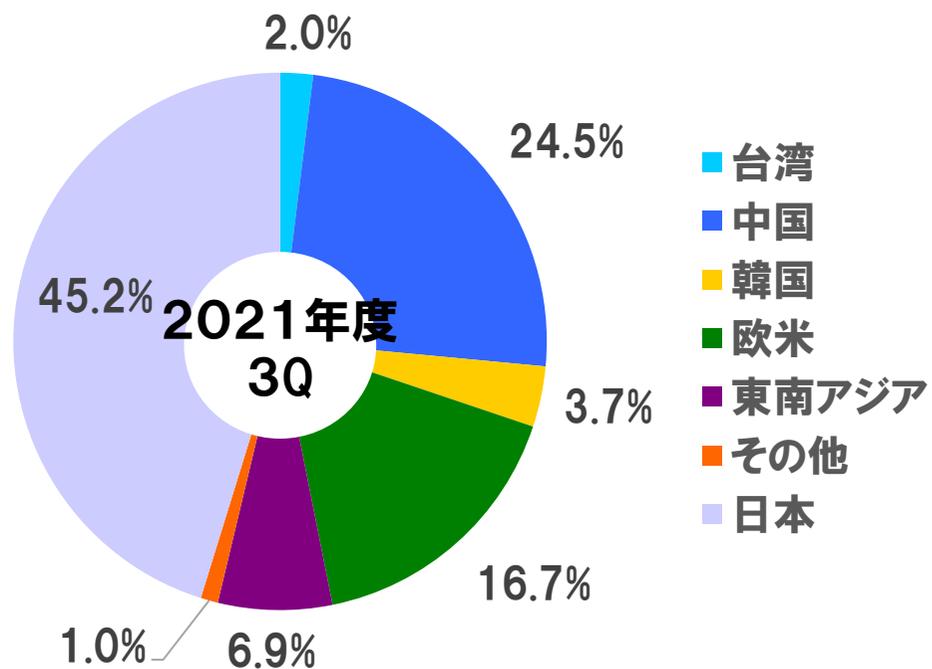
- 電子部品・電子機器市場
- 自動車市場
- 半導体市場
- 研究機関
- その他市場



# 地域別売上構成比

2021年度3Q累計

海外売上高比率:54.8%

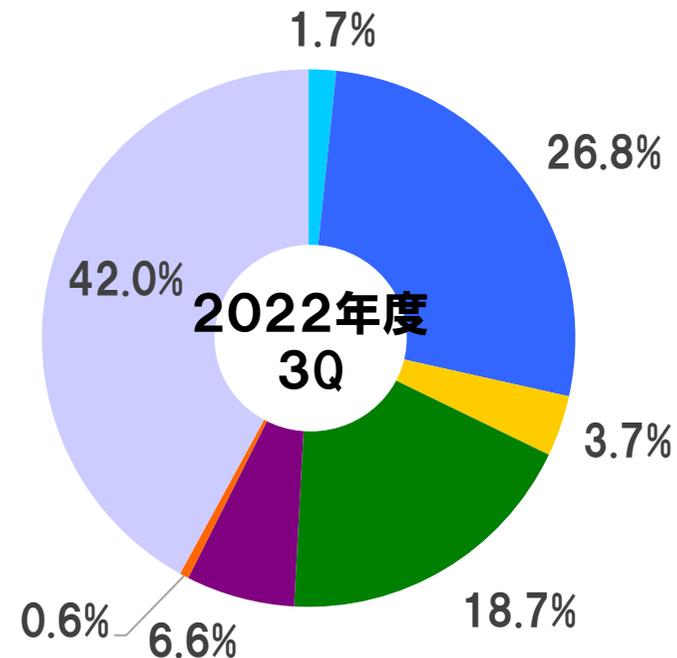


計 28,131百万円

(海外売上高:15,420百万円)

2022年度3Q累計

海外売上高比率:58.0%



計 35,972百万円

(海外売上高:20,868百万円)

# 2022年度 業績予想

(百万円)

	2021年度	2022年度			
	通期実績	3Q累計実績	業績予想(10月修正)		
			4Q	通期	前期比
受注高	51,303	47,153	11,847	59,000	+15.0%
売上高	41,852	35,972	16,028	52,000	+24.2%
売上総利益 [利益率(%)]	14,003 33.5%	12,345 34.3%	5,455 34.0%	17,800 34.2%	+27.1%
販管費 [販管费率(%)]	12,034 28.8%	9,929 27.6%	3,871 24.2%	13,800 26.5%	+14.7%
営業利益 [利益率(%)]	1,968 4.7%	2,416 6.7%	1,584 9.9%	4,000 7.7%	+103.2%
経常利益 [利益率(%)]	2,322 5.5%	2,695 7.5%	1,655 10.3%	4,350 8.4%	+87.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益 [利益率(%)]	1,905 4.6%	1,708 4.7%	1,192 7.4%	2,900 5.6%	+52.2%

2022年10月28日の業績予想修正において通期想定レートを120円から140円に修正しております。

# セグメント別の業績予想

		2021年度	2022年度 (百万円)			
		通期実績	3Q累計実績	業績予想(10月修正)		
				4Q	通期	前期比
装置事業	受注高	43,535	41,031	9,969	51,000	+17.1%
	売上高	34,518	30,866	13,534	44,400	+28.6%
	営業利益	1,370	2,329	1,431	3,760	+174.3%
サービス事業	受注高	6,771	5,216	1,504	6,720	△0.8%
	売上高	6,407	4,672	1,798	6,470	+1.0%
	営業利益	618	185	45	230	△62.8%
その他事業	受注高	1,265	1,148	432	1,580	+24.8%
	売上高	1,188	656	774	1,430	+20.4%
	営業利益	△23	△96	106	10	-
連結消去	受注高	△269	△243	△57	△300	-
	売上高	△261	△222	△78	△300	-
	営業利益	2	△0	0	0	-
計	受注高	51,303	47,153	11,847	59,000	+15.0%
	売上高	41,852	35,972	16,028	52,000	+24.2%
	営業利益	1,968	2,416	1,584	4,000	+103.2%

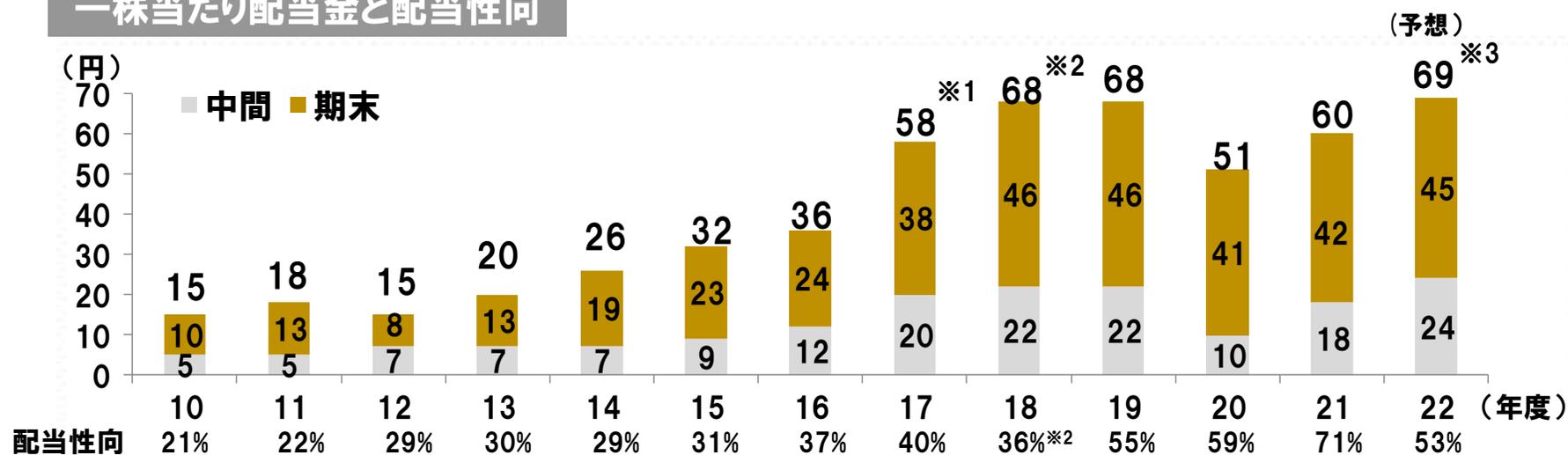
# 2022年度 配当予想

## 利益配分に関する基本方針

配当については継続性と連結配当性向を勘案して決定することを基本としていますが、2022年5月、配当基本方針を以下のとおり改定しました。

- ・配当性向30%に加え、予定必要資金の超過金額の1/3を目途に配当として上乘せする
- ・安定配当として年20円の配当金を利益水準に関わらず維持するが、2期連続で最終赤字の場合は見直しを行う
- ・必要な内部留保の水準を考慮しつつ、自己株式取得を機動的に実施する

## 一株当たり配当金と配当性向



※1.2017年度は創業70周年記念配当2円(中間1円、期末1円)を含む

※2.2018年度は海外連結会社の決算期が15ヵ月間の変則決算 12ヵ月とした場合の配当性向は39%(参考値)

※3.2022年度は創業75周年記念配当4円(中間2円、期末2円)を含む

# ESGの主な取り組み

## ■E(環境)

- ・2030年度温室効果ガス排出量削減目標を設定
- ・第8次環境中期計画(2022～2025年度)を策定

地球温暖化対策および生物多様性保全活動を強化

<温室効果ガス排出量削減目標(2019年度比)>

2030年度 SCOPE1+2 60%削減、SCOPE3 30%削減

2025年度 SCOPE1+2 55%削減、SCOPE3 10%削減

- ・2022年6月、有価証券報告書にてTCFDに基づき情報開示

## ■S(社会)

- ・社員(管理職・一般)への学び直し機会の拡大
- ・女性管理職の育成など多様な人材の活躍推進

## ■G(ガバナンス)

- ・2022年6月、監査等委員会設置会社へ移行

取締役会における審議の充実化、監督機能の強化、取締役会の多様性確保(女性取締役2名)

# TOPICS 1

## 【国内初】車載用バッテリーパック・モジュール不具合解析サービス

- ・2022年11月、バッテリーパック・モジュールの不具合解析サービスを開始
- ・パック・モジュールを解体したうえで電氣的・視覚的に診断し、不具合の部位を特定
- ・公正な第三者機関としてサービスを提供し、車載用バッテリーの性能・安全確保に貢献



セル解体用グローブボックス

## 5G通信機器の温度特性試験に対応 電波暗箱型恒温器をラインアップ拡充

- ・5G対応の無線送受信モジュールや通信端末、基地局の通信性能や安全性を確認する電波暗箱型恒温器を新たに4器種開発
- ・シールド機能(電波を遮蔽)、電波暗箱機能(槽内での電波反射を防ぐ)を備え、 $-40^{\circ}\text{C}$ ～ $+100^{\circ}\text{C}$ の温度環境下での無線試験が可能



電波暗箱型低温恒温器

# TOPICS 2

## 兵庫県立大学と「SDGs推進」に関する協定を締結

- ・2022年8月、兵庫県立大学とSDGs推進を目的とした協定を締結
- ・生物多様性保全、教育・人材育成、環境・エネルギーなどの分野において両者が持つ知見や技術を活かして連携



締結式  
兵庫県立大学 学長 太田勲様(右)  
エスペック 代表取締役会長 石田雅昭(左)

## 生物多様性保全活動 「エスペック50年の森」植樹祭

- ・兵庫県三田市にて林野庁「法人の森林」制度を活用した森づくり「エスペック50年の森」を開始
- ・2022年11月、第1回植樹祭を開催  
炭素固定・生物多様性機能をふまえ苗を選定  
社員など約200名が参加し約4,000本を植樹



第1回植樹祭  
3.6haの土地に2年間で12,000本を植樹予定

# 社外からの評価

2023年2月

- ・東洋経済新報社「2023年版CSR企業ランキング」372位

2022年12月

- ・CDP気候変動レポート2022において3年連続「Bスコア」
- ・日興アイ・アール「2022年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」2年連続最優秀サイト
- ・ブロードバンドセキュリティ「Gomez IRサイトランキング2022」銅賞（業種別24位）

2022年11月

- ・日本経済新聞社「第4回日経SDGs経営調査」4つ星
- ・日本経済新聞社「第6回日経スマートワーク経営調査」3.5星

2022年10月

- ・日刊工業新聞社（経産省後援）「第18回企業力ランキング」155位

2022年8月

- ・ブロードバンドセキュリティ「Gomez ESGサイトランキング2022」優秀企業に初選定

2022年7月

- ・東洋経済新報社「2022年版SDGs企業ランキング」334位

2022年4月

- ・ESG指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」構成銘柄に初選定



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

**この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。  
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、  
当社が計画・予測したものであります。  
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは  
異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものでは  
ございません。**

**【お問い合わせ先】**

**エスペック株式会社**

**〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6**

**TEL 06-6358-4744 FAX 06-6358-4795**

**e-mail ir-div@espec.jp**

**サステナビリティ推進部 部長 中川**

**IR・広報グループ 大川・貝川**

---

Quality is more than a word

ESPEC